

# みなへらまたで通信 No5

みなへら通信 第5号 2013年6月15日

ゼロ・ウェイスト宣言のまち、水俣から  
ムリなく 楽チンに みんなで ごみへらし  
みなまたスタイル情報紙

編集：ゼロ・ウェイスト円卓会議  
発行：水俣市環境モデル都市推進課

## 『草』減量大作戦

いよいよ梅雨に入りました！これから草がますます元気になる季節です。

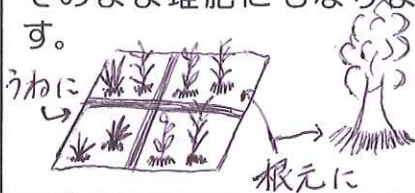
実はこの時期、クリーンセンターでは燃やすごみの草の割合がとて多くなり費用がとてかかるのです。なぜなら草はそのほとんどが水分。水を燃やすのには大量の燃料が必要だからです。そこで今回はなるべく草をごみに出さない・なるべく出す草の量を減らす方法を提案します！

### 草を循環させる

庭を手入れした後の草ごみは、庭にとっていい養分になりますよ。いくつかご紹介します。

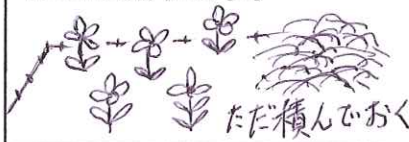
#### 畑の保護に使う

草を畑の畝にためたり、作物の根本に敷くと土の乾燥がふせげます。そのまま堆肥にもなります。



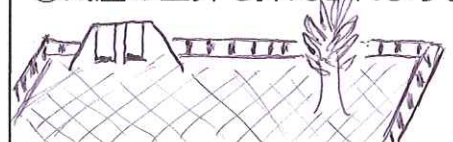
#### 堆肥を作る

庭の片隅に積んでおくだけで、1年ぐらいで堆肥になります。どんどん積んでも自然とかさは減ります。



#### 草おさえとして使う

公園や庭などでは刈った草をそのまま薄く広げておくと  
①草が生えにくくなります。  
②ホコリが立つのも防げます。  
③気温の上昇も抑えられます。



※それでもどうしてもごみに出すときには、かさを減らして出しましょう！！

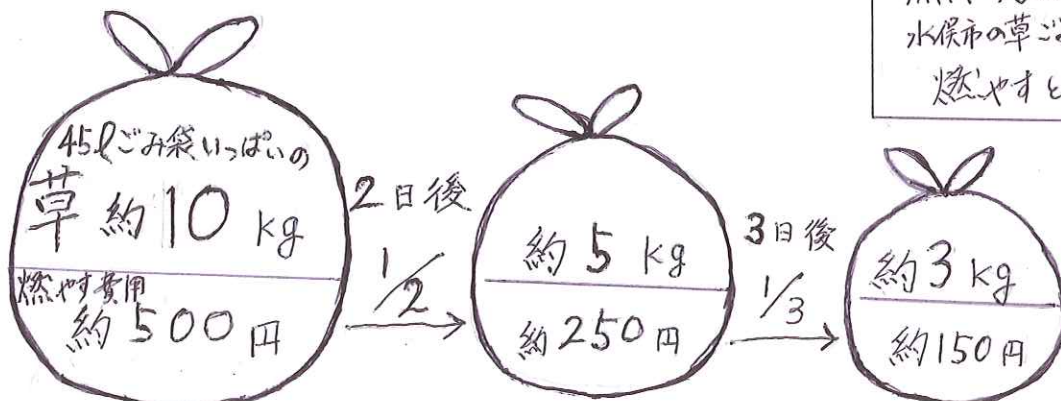
### 草のかさを減らす方法

抜いた草を乾かしてからごみに出す。  
2, 3日干して集めると出す時も軽いですよ。

#### やってみました、草減量実験！

抜いた草を晴れや曇りの日に袋に入れずに庭に干しました。

ごみを燃やすのにかかる費用  
燃やすごみ 1kg = 約50円  
水俣市の草ごみは年約600t  
燃やすと約3000万円



重さをへらすと  
処理費用も  
へります！

※袋に入れるときは、土や泥をよく落として草だけにします！



# 草をゴミにしない工夫、楽しんでいます

環境共生型  
モデル住宅エコハウス  
10:00~16:00 OPEN  
月休 84-9006



エコハウス（月浦）の管理人・松岡久子さん

エコハウスの庭には国際ワークキャンプで作ったコンポストがあります。草や剪定した小枝は、これに入れて自然に肥料になるのを待ちます。コンポストの下には隙間があるので、ここからスコップで堆肥になったものを取り出すことができますよ。どうぞ、エコハウスに見に来てください。

桑畑好継さん（古城）



畑の雑草は土にすき込んでいます。阿蘇神社のそうじの時に出土葉っぱを境内の隅に積んでいるのですが、何年も経って腐葉土になったものは、畑の肥料に重宝しています。

土性肥に

小島栄さん（久木野）



畑で出た雑草をゴミ袋に密封して、そのまま放置しています。こうすると草が再び地面に活着することもありません。堆肥になったら畑に戻します。自分で草木処理の仕方を色々考えてやっています。



草を減らす



陣原団地では今月の大そうじの際に、遊園地の草を木の根元に敷いて、ごみに出す草をちょっぴり減らす事ができました。家庭でも少しスペースがあれば、草をごみにしなくてすみすね。剪定した枝も循環できる仕組みがあればいいのですが。



マイボトルが使える  
お店、増えています！

のどがかわく季節がやってきました。

マイボトルとお出かけすれば、ペットボトルなど  
ごみになってしまうものが減らせますよ〜♪

☺ 天の製茶園 和紅茶工房（六つ角）

石飛・天野さんのティールーム 和紅茶各種

☺ アルルカン（水光社本店そば）

季節の果物のスムージー（シャーベットドリンク）

☺ みなまた観光物産協会（新水俣駅）

コーヒー（ホット・アイス） ボトルなら10円引き！

☺ ふきのとう（水俣駅）→

ホットコーヒー

☑ コーヒーマシンに合わない大きさの  
ボトルは使えません

☺ ローソン/ファミリーマート/セブンイレブン ↑

コーヒー各種 ローソンはボトルなら10円引き！



茶のみ場では、ボトルに水俣の美味しい  
お茶を100円で入れてもらえます。

☺ ふれあいセンター（水光社本店横）

お茶や軽食で休憩できるスペース

☺ 愛林館（久木野）

棚カフェで提供しているドリンクも

ボトルに入れられます。

☺ かしわざい（湯の鶴温泉）

うなぎがおいしいお食事処

「みなへら通信」は、ごみの焼却・埋立に頼らないまちづくりの仕組みを市民・事業者・行政の協働でつくっていくゼロ・ウェイスト円卓会議が発行する情報紙です。円卓会議に参加する市民のボランティアで楽しく取材・編集しています。ごみ減量と情報紙の取材・編集に関心のある方を募集しています。

お問い合わせ：水俣市環境モデル都市推進課 TEL 61-1647